

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		太陽きゃべつ				公表日	令和 7 年 3 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	成長期の中学・高校生の利用が主であるので、課題別でチームを分けて時間差で支援したり、プログラムを分けて活動するなど、スペースを有効活用している。	広さとしては広い方であると思っているが、大きな身体の利用者さまが多く、狭く感じがちではある。また、静置室は一部確保されているが、もう一部層欲しいと感じている支援員もいる。事務所を工夫して使いたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	個別のサポートが必要な方(個別サポート加算の指示がある方)には必要な支援が行えるよう、できるだけ1対1で支援員を配置している。十分とは言えないが、手厚い支援を行えていると感じている。	1対1の支援を徹底しても、情報共有が足りなかったり、声かけや気遣いの不足で反省する支援結果となったこともある。体制だけでなく、内容充実が必要である。また、人材確保は課題である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	絵カードや名札など視覚的なツールを活用することで工夫できている。	工夫はできているが十分とは言えないと感じている支援員もいる。より内容充実にも努めたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	毎日清掃・美化と整備に努めている。	上記同様、十分とは言えないと感じている支援員もいる現状はある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	利用の子どもたちが、自分の意志で移動をし、使用できる場所を確保できている環境は整っている。	上記同様、十分とは言えないと感じている支援員もいる現状はある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	できるだけ多くの支援員が参加しやすい日時を設定し、目標設定や振り返りについての会議を行っている。	他部署との兼務をしている支援員について、なかなか会議参加が難しい現状がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	早めにアンケートをお配りし、協力を呼び掛けた。	半数ほどの回答率だったため、もう少し期間延長したり、呼びかけを強化するなど、もう一工夫必要だと感じた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		職員同士のコミュニケーションを円滑にすることや、日々のミーティング、面談もまめに行えている。	より内容向上に努めたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	工夫ができていない現状がある。	法人として取り組めていないため、法人全体の課題として協議する場を持ちたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	毎月1回以上の研修機会を設け、外部研修も職員に案内するようにしている。	パート職員は自由参加としていたが、今後なるべく参加してもらう方向でお話していきたい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	支援プログラムは令和6年度内に作成し、すでに公表済みである。	パート職員に公表内容などを明確に共有できていなかった。すぐに共有を行った。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		デイサービス計画書作成についての過程で行ったことや保護者さまとのやり取りなどは全職員になるべく共有するよう工夫している。	より内容向上し、共有に努めたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	デイサービス計画書作成についての過程で行ったことや保護者さまとのやり取りなどは全職員になるべく共有するよう工夫している。	いいえと答えた職員がいたため、その事実を重く受け止め、内容向上に努めたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	デイサービス計画書は全職員に共有しやすいように、ファイリングを工夫したり、ファイルの前面に貼るなどして工夫し、時々実際の支援の際に取り上げている。	いいえと答えた職員もあり、情報共有と支援計画の活用の仕方についても研修を行う予定である。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3	会議や面談を通して、種々のアセスメントを使用するように工夫している。	これまで、常勤職員を中心に会議や面談の参加をしていた。パート職員にも機会を広げることができたら良いと感じた。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ガイドラインを元に精査を重ねた上で、支援内容を設定できている。	より内容向上に努めたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	できるだけ多くの支援員が参加しやすい日時を設定し、立案についての会議を行っている。	全職員を巻き込んで会議を行うところまで徹底できていない。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		常勤職員が中心になり、研究を日々重ねながら、パート職員の意見も取り入れて工夫できている。	より内容向上に努めたい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		常勤職員が中心になり、研究を日々重ねながら、パート職員の意見も取り入れて工夫できている。	より内容向上に努めたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		支援前ミーティングは定着しており、パート職員の出勤を早めるなどの工夫を法人として認め、推進してもらっている。	より内容向上に努めたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	支援後のふり返りは、送迎都合もあり、常勤職員が中心になり、パート職員から引き継ぎを行う形で共有するようにしている。	いいえと答えた職員も有り、より共有の充実に努めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		毎日提供記録を記載し、記録する職員が偏らないよう、工夫している。	毎日提供記録を記載し、記録する職員が偏らないよう、工夫している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		常勤職員が中心になり、判断、見直しを行っているが、パート職員の意見も取り入れて工夫できている。	常勤職員を中心に会議の参加をしていたが、パート職員にも機会を広げることができたら良いと感じた。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		常勤職員が中心になり、研究を日々重ねながら、パート職員の意見も取り入れて工夫できている。	より内容向上に努めたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		色々な場面で、子どもたち自身で選択してもらう機会を多く持つようにしている。	より内容向上に努めたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者だけでなく、実際支援に携わっている職員にもできるだけ会議出席をしてもらっている。	より多くの支援員に会議に参加する機会を持って頂きたいと思っている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		不登校児の支援にあたり、学校としっかり連携を取り、登校へとつなげることができている。	より内容向上に努めたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		学校でのトラブルなども密に共有、連携し、バスの乗り間違いなどがあった時もスムーズに対応ができた。	より内容向上に努めたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1	主に、同法人内のデイサービスや児童発達支援とはあるが、引き継ぎや情報共有を密に行っている。	他法人とは、情報共有が十分とは言えないため、努力したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		個人情報保護のため、希望があれば、情報共有を必ず行っている。	より内容向上に努めたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	6	連絡協議会など、指導の内容を共有して頂いたり、支援計画についてアドバイスを頂ける機会を積極的に利用はしている。	状況として十分とは言えず、提供される研修などにもできるだけ職員を参加できる機会を持ちたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		10	ニーズとしては低いが、スポーツなどを通して交流の機会があれば良いと思い、模索中である。	保護者さまからのニーズが低いため、実施する優先順位が低くなっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5	連絡協議会へは職員が順番に参加している。	パート職員への情報共有が十分でない現状である。今後、会議などで情報共有に努めたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時だけでなく、昼夜問わずラインを運用し、電話対応もできるだけ行い、全職員に内容を共有している。	十分とは言えず、今後Instagramなどのツールも活用し、より内容充実に努めたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	6	個々に情報提供を行っていることはある。	費用面のこともあり、事業所として行うためには法人全体での協議が必要であると感じる。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時だけでなく、面談時や送迎時にも必要を感じた時に説明を行っている。	十分とは言えず、今後Instagramなどのツールも活用し、より内容充実に努めたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		作成前には、必ず子どもたちにアンケートを行い、保護者さまたちには必ず面談や聞き取りの電話などを行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		保護者さまのご都合を早めに聞き取り、必ず計画書を示しながら説明を行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		常勤職員だけでなく、パート職員も相談に親身に乘ってくれている様子がある。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10	保護者会は今年度開催を目指し、法人として取り組もうとしているところである。	コロナ禍により、計画が中断してしまった経緯がある。しっかり上役とも相談しながらすすめていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		常勤職員だけでなく、パート職員も相談に親身に乘ってくれている様子がある。	特に大きな苦情が今年度はなかった。より内容充実に努めたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	主にラインを活用し、情報提供を行っている。	十分とは言えず、今後Instagramなどのツールも活用し、より内容充実に努めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		折にふれ、個人情報保護については確認を行っている。	十分とは言えず、今後Instagramなどのツールも活用を目指すため、より内容充実に努めたい。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		主にラインや電話を活用したり、絵カードやその他の視覚的なツールを用い、行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	8	地域資源を活用し、公園や地域のイベントに参加するようにしている。	事業所の行事に招待するところまでできていない。法人としての課題でもあつと感じる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各種マニュアルは作成済。事前に3月、6月、9月、12月の日時を設定し、訓練を行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPは作成済。主に、9月に日時を設定し、訓練を行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時だけでなく、面談時や送迎時にも必要を感じた時に状況確認を行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		全職員に指示書を共有、何度も確認を促している。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画は作成済。毎日安全確認を行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	契約時だけでなく、面談時や送迎時にも必要を感じた時に周知を行っている。	パート職員への周知が不徹底であつた。即、情報共有のための会議を行った。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハットは日々、全職員に共有し、できるだけ多くの支援員が参加しやすい日時を設定し、対策にむけての会議やミーティングを行っている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		1～3月に奈良県主催の研修に参加し、都度職員に共有を行い、適正な支援に努めている。	十分とは感じておらず、より内容充実に努めたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		1月に委員会を行い、身体拘束適正化についてのマニュアル等の確認や研修を行った。	実際に身体拘束の必要性を感じるお子さまをお預かりしていない現状はある。